

授業作り	重点	各教科や総合的な学習の時間等において、自分の思いや考えを書き、交流を通して学びを深めたり、広めたりする。また、個別最適な学び、協働的な学びの視点から、ICT機器を意図的・計画的に活用し、その効果を最大限に発揮させることで、児童が主体的に考え、伝え合い、高め合う授業を目指す。
環境作り		全ての児童が落ち着いて学習に取り組むことができるように、まなびの教室の教員と協力して教室環境、学習環境を整備する。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		・語彙を増やし、日常生活の中で使えるようにしていく。 ・自分の思いや考えを書いたり、発表したりして表現する力を伸ばしていく。 ・10までの数の構成（合成・分解）を理解させる。 ・加法と減法の計算の仕方を身に付けさせる。	①朝読書の時間を定期的に確保したり、読み聞かせを行ったりして本に触れる機会を増やす。 ②学習の振り返り、感想文など、自分の思いや考えを書いたり、発表したりする機会を増やす。 ③具体物の操作を取り入れ、確実に理解させる。 ④基礎的な計算に繰り返し取り組む時間を確保する。 ⑤タブレット端末、デジタルドリルを活用する。
2 学 年		・語彙を豊かにして、日常で使えるようにしていく必要がある。 ・書くことへの抵抗感をなくし、書く力を育てていく。すすんで自分の思いなどが書けるよう、全教科を通じて、自分の考えを書く時間を確保する。 ・漢字の読み書き、繰り上がり、繰り下りの計算処理を確実にできる力が必要である。	①学校図書館等と連携し、並行読書や調べ学習など、読書環境の充実を図る。 ②学習の振り返り、感想文など、自分の思いや考えを書く機会を増やす。 ③デジタルドリルを活用する。 ④朝学習等で継続的に、プリントに取り組む時間を確保する。
3 学 年	・国語では、説明文や物語文の読み取りの力の向上が必要である。 ・算数では、基礎的な計算能	・自分の考えに根拠をもって書くことができる児童もいる一方で、書くことに抵抗感をもっている児童もいる。テーマ作文等で身近なも	①学習の振り返り、感想文、テーマ作文など、自分の思いや考えを書く機会を増やす。

	力、問題をしっかりと読み取る力の向上が必要である。	の、興味のあるものを題材にして、書くことへの抵抗感をなくしていく。 ・使える語彙が少ないため、昨年度使用した「言葉の宝箱」や「気持ち図鑑」を活用し、様々な表現で文章を書く力を育成していく必要がある。 ・基礎基本的な計算の習熟度に個人差が見られる。九九や2桁の加法減法など、繰り返し復習が必要である。	②具体物、ICT 機器、デジタル教材を活用した視覚的支援 ③デジタルドリルの活用 ④朝学習などで計算プリントの活用 ⑤「言葉の宝箱」「気持ち図鑑」の活用
4 学 年	・学習に対する意欲がある児童とない児童の差がある。 ・国語では、説明文や物語文の読み取りの力の向上が必要である。また、文章を要約できる力も児童によってばらつきがある。 ・書く内容を明確にして、文章を構成していく力が必要である。 ・算数では、基本的な計算能力や知識の定着、正確に作図する力が必要である。	・全教科の学習を通して、学習者主体の学びを実践していく。そのために、児童自身が学び方を決めたり、授業のシステム化を図ったりする。 ・場面や段落の中心やまとまりを考え整理し、自分なりに記録したりノートにまとめたりし、読む力を向上していく。また、自分の思いや考えをもち、それをすすんで発表できる力の育成が必要である。 ・すすんで自分の思いなどが書けるよう、全教科を通じて意図的に自分の考えを書く時間を確保し取り組んでいく。書くことへの抵抗感をなくしていき様々な表現で書く力を育んでいく。 ・かけ算、わり算の筆算を正確にできるように基本的な計算力を身に付ける。また、図形の特徴を理解し、三角定規、コンパス、分度器を活用して正確に作図することができる力が必要である。	①教科書の視写、国語辞典、漢字辞典の活用、「言葉の宝箱」「ことわざ調べ」「季節の詩」の活動を通して語彙を増やす。 ②全教科を通しての学習の振り返り、テーマ作文など、自分の思いや考えを書く機会を意図的に増やす。 ③具体物、ICT 機器、デジタル教材を活用した視覚的支援や特別な支援を要する児童への手立てを用意する。 ④デジタルドリルを活用する。 ⑤自主学習に取り組み、自ら課題を設定し、自ら選んだ方法で解決できるよう支援していく。
5 学 年	・国語では、文章の読み取りで登場人物が一致しない、筆者の考えが読み取れないなどの課題が見られるため、読み取りの力を向上させる必要がある。 ・書く能力について、実体験と	・叙述の特徴や文章構成に着目した読み取りを行っていく。 ・読書活動や語句調べ活動を充実させることで、語句の意味や語彙を増やしていく。 ・テーマ作文などを通してテーマに沿った自分の考えをもったり、体	①国語辞典、漢字辞典の活用を通した語句調べの日常化 ②デジタルドリルの活用 ③課題に対する自分の考えや振り返りを書く機会を設ける。 ④前学年、前単元の復習を行

	結び付けて文章構成を考える力を向上させる。 算数では、基礎的な計算能力、問題をしっかりと読み取る力の向上が必要である。	験を結び付けたりして表現方法の習得を図る。 基礎的な問題を確実に理解し、応用的な問題に活用できるようにする。	う。
6 学 年	- 文章の内容を正確に理解するために、語彙力の向上が必要である。 - 自分の思いや考えを表現するために、思考力や構成力の向上が必要である。 - 問題の意味を理解する力や基本的な計算力の向上が必要である。	- 文章の意味を考えながら、要点を整理して読むことが必要である。また、朝読書などを活用し、語彙力を向上させることが必要である。 - 文章の構成を考え、それに合わせて自分の思いや考えを書いたり話したりする表現力の育成が必要である。 - 基本的な計算力、既習内容を活用する力を身に付ける必要がある。	①学級図書などの環境整備とその活用 ②デジタルドリルの活用 ③自分の思いや考えを表現する場面を増やす。（作文やスピーチなど） ④学習に沿った計算練習の取組 ⑤前学年も含めた既習内容の復習を行う。
特 別 支 援		- 日常生活に必要なコミュニケーションと児童の実態に合わせた活動に取り組む必要がある。 - 基本的な体の動かし方やバランス感覚、力加減などを身に付ける必要がある。	①発達検査等をもとに、児童の実態把握をして適切な指導、支援を行う。 ②粗大運動や協応動作を取り入れ、運動能力を高める。